

## 令和元年度第1回一関市総合計画審議会 会議録

- 1 会議名 令和元年度第1回一関市総合計画審議会
- 2 開催日時 令和元年8月5日（月）午後1時30分から3時まで
- 3 開催場所 一関市役所 議員全員協議会室
- 4 出席者
  - (1) 委員 阿部新一委員、砂金文昭委員、伊藤一樹委員、太田久美委員、大沼佐樹子委員、菅野佳弘委員、小岩邦弘委員、佐藤弘子委員、東海林訓委員、菅原君代委員、菅原敏委員、菅原行奈委員、菅原正弘委員、千田博委員、千葉哲夫委員、辻山慶治委員、徳谷喜久子委員、中尾彩子委員、畠山育美委員、原田哲委員、水谷みさえ委員、吉田正弘委員、若山義典委員  
(欠席委員 藤野清貴委員、小山亜希子委員、千田久美子委員、三浦幹夫委員)
  - (2) 事務局 石川隆明市長公室長、佐藤正幸市長公室次長兼政策企画課長、阿部繁樹政策企画課長補佐兼未来戦略係長、鈴木敏宏政策企画課政策推進係長、小野寺知之主査、小山真央主事

## 5 議 題

- (1) 総合計画後期基本計画策定方針について
- (2) 市民等アンケート調査について

## 6 公開、非公開の別 公開

## 7 傍聴者の数 2人（報道機関、議員）

## 8 挨拶

### (1) 小岩会長

新元号となって最初の会議であり、総合計画後期基本計画の策定期間となっております。本日はその流れとどのように策定していくかということをお委員の皆さんから御意見をいただきたいと思っております。

### (2) 市長挨拶（佐藤副市長代理）

総合計画の総合は全てが対象という意味合い、計画は戦略を練る話になるので、何を、という取捨選択の話になります。基本構想は10年、基本計画は5年の期間のもので、10年5年を切り取る必要があります。時代観をつかむ必要があります。基本構想も基本計画も議決の対象となります。一関市としての意思決定をすること。これに基づいて様々なものが実行されていくこととなります。

我々現役世代が、何を次の世代に残していくか、次の世代のために何を作っていくか、どのようなものを生み出していくか、ということが総合計画ではないかと思っております。

これからの審議の中で盛り込んでいただければと思います。

## 9 審議内容

### (1) 総合計画後期基本計画策定方針について

事務局が、資料No.1-1「総合計画後期基本計画策定方針」、資料No.1-2「総合計画後期基本計画及び第2期総合戦略策定スケジュール」に基づき説明を行った。

以下、委員からの意見など。

委員 この策定方針は、決定したものか。

事務局 この策定方針は、決定したものになる。この策定方針に沿った運用の仕方や策定方針で定めていない部分の進め方については、これから協議しながら進めていく。

委員 中高生のアンケートについて、調査結果をどう活かすのか、どう調査対象に結果を返していくのかを示してほしい。ワークショップも同様。これまでも高校生のワークショップをやっていると思うので、それを取り入れていただきたいと思う。次世代に活かす取組なのであれば、中学生や高校生が意見を言ったことで、それが生きるんだと考えてもらえるような方向性をもって進めていただきたい。

事務局 ワークショップやアンケートについては、内容は決定ではない。これから修正していく内容である。ワークショップの在り方、アンケートの内容については、本日の議題としているところであり、そのような御意見をいただければと思う。

委員 最近読んだ本に、目的と目標と手段を取り違えてはダメだということがあった。後期基本計画の趣旨について、目的がはっきりと明示になっていないと思った。

前期基本計画の将来像について、「みつけよう育てよう 郷土の宝 いのち輝く一関」として掲げており、決めるときに、「いのち輝く一関」にこだわり、高齢者にもやさしく、障がい者にもやさしいまちづくりをしていきたいと思っていて、後期基本計画の将来像には具体的な言葉を入れていただきたい。

事務局 後期基本計画をこれから2年かけてつくるというイメージを、もっていただきたい。

その中で、総合計画は、10年間の市の目標を定めている基本構想と、前期5

年間の計画と後期5年間の計画になる。将来像については、10年間の基本構想の期間中であり、引き続き「みつけよう育てよう 郷土の宝 いのち輝く一関」を掲げるものである。それを受けて、まちづくりの考え方、取組などについて、前期計画の内容も踏まえながら、この5年間どう取り組むかという部分をこれから進めていきたいと考えている。

委員 趣旨について、前期基本計画の成果は、委員に示していただけるのか。

事務局 前期基本計画の期間後に総括するが、次期計画は前期基本計画の期間中に策定することになり、指標や目標値をもって取り組んでいる状況、その経過を踏まえながらという形になる。

委員 まちづくりスタッフ会議と審議会の関係はどのように考えているのか。

事務局 まちづくりスタッフ会議の内容は、計画の素案を検討いただく場として考えており、その内容を審議会で検討していただく予定で考えている。まちづくりスタッフ会議は、市の職員と市民で構成するが、審議会委員の皆さんにもご協力願う。

委員 各地域で地域づくり計画を策定しているが、市民参画の中で、後期基本計画に反映させることはできないものか。

事務局 後期基本計画の中にどのように盛り込んでいったらよいか、検討の課題としていきたい。

## (2) 市民等アンケート調査について

事務局が、資料No.2「総合計画後期基本計画策定アンケート実施要領(案)」に基づき説明を行った。

以下、委員からの意見など。

委員 企業アンケートは、5%でとらえると2,000社が調査対象の母集団となるが、その考えでよろしいか。

事務局 前回の回収率を考慮し配布数を設定したが、調査対象となる企業数は把握していない。

委員 市民アンケート問1-1は、SDスケールの方が負担感が少なく、選択しやすい。また、問2は、問1の影響を受けやすいので、最後の設問にした方がよい。

問4の記載例については、社会的望ましさの観点から選択項目にないものを明記すること。

問5の省略文字は、使用しないこと。

設問について、項目ごとに5段階評価にすると使えるようなデータが得られ

と思う。

委員 市民アンケートについて、聞き方や構成を見直すと、集計した時の分析に役立つと思う。

委員 アンケートの選択肢を工夫し、より多くの方に提出してもらい、市民の声を反映してほしい。

委員 企業アンケートの配布数について再考願いたい。

委員 いきがいづくり課から要望のあった設問の一部について、市民アンケートではなく、企業アンケートの方がよいのではないか。

事務局 内部で協議する。

委員 アンケートを集計し、分析して終わりではなく、後期基本計画のどの項目にどのように反映されるのか、つめていかなければならないと思う。また、小学生にも単純な項目でよいので、アンケート調査を実施することにより、自分たちのまちを考える意識づけになると思う。

委員 企業アンケートについて、広域連携や交流人口の拡大などといった内容で項目を整理すれば書きやすいのではないか。

事務局 市内の企業と市外の企業に対しアンケート調査を実施しているが、市外の企業から見た一関市の感想を把握したい部分があり、一関市が伸びていくにはどのような視点が欲しいのかといった部分を聞くために、項目として設定しているところもある。

委員 企業アンケートの問5の選択項目10について、現代にあった表現に修正した方がよいのではないか。

委員 第一次産業の農業や林業の内容も項目として設定してほしい。

委員 11月中旬以降のスケジュールについて明記してほしい。

委員 中学生・高校生アンケートの母集団の設定について詳細を知りたい。

事務局 高校3年生は進路が既に決まっている時期であり、進路が明確に定まっていない高校2年生を対象にしているもので、中学3年生は将来のイメージを聞くために設定している。

委員 困っていることを聞くアンケートではなく、協働のまちづくりの中で市民ができることを聞くアンケートもよいと思う。

委員 中学生・高校生アンケートの問3は、市民アンケートと同様の設問になっているが、住みやすさの感じ方は違ってくると思う。

事務局 一般の方と中学生、高校生の認識がどのように違うのか把握したいところもあるが、内容について見直したい。

委員 質問項目が多いものは避けられる。楽しめるようなアンケートにしてほしい。

事務局 アンケートは聞きたい項目がたくさんあるが、回収率が下がってくることもある。回収率を上げるために、項目を見直したり、御意見をいただいた中で整理して設定したい。計画を策定する際にアンケート調査を行い、同じ項目を設定し、どのように推移しているのか経過を見ることもあるので、全体の中で調整したい。

委員 アンケート結果は、市の広報でもお知らせして、多くの市民に周知してほしい。

10 担当課 市長公室政策企画課